

(決議案第1号)

イスラエルとハマスの双方に停戦を求める決議

10月7日から始まったイスラエル・ガザ紛争では、約1か月で死者数が1万人を超える深刻な事態に陥っている。グテーレス国連事務総長が「ガザは子どもたちの墓場になりつつある」と即時停戦を訴えたように、ガザ地区ではとりわけ子どもたちの犠牲が増え続けている。

国連は10月27日、ガザ地区の情勢に関して国連総会の緊急特別会合を開き、敵対行為の停止につながる即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議を採択した。イスラエルとハマスの双方をはじめとする全ての当事者が、この決議に従い、国際法を完全順守し、暴力行為を中止すべきである。

ガザ地区では電力、食料、医薬品、燃料などが遮断され深刻な人道的危機に直面している。これ以上の犠牲者を生まないための人道支援が急務である。即時停戦するよう、全ての当事者に求めるものである。

よって、釧路市議会は、「釧路市核兵器廃絶平和都市宣言」の下、このたびの紛争に対して市民が強く願う恒久平和を実現すべく、一刻も早い停戦を求める。

以上、決議する。

令和5年12月15日

釧路市議会